

# 「集成館事業と疎水溝」

～身近な鹿児島の近代化遺産を知る～

■ 日時 平成19年 **7月28日(土)** 9:30～12:00

■ 会場 **かごしま県民交流センター東棟3階小研修室**  
(鹿児島市山下町14-50)

■ 内容 幕末の薩摩藩で島津斉彬の指揮のもと取り組まれた集成館事業。その近代的な機械工場群を支えていたのは、台地の上、下田・吉野地域からひかれていた水路・疎水溝でした。享保7(1722)年頃に成立したといわれるこの疎水溝、いったいどのようなものだったのでしょうか。鹿児島の地形と技術を通して見えてくる全体像について、お二人の専門家をお招きして楽しく学びます。



① 9:30-9:50 「身近な近代化遺産を楽しもう」

普段は意識しないけれども実は身近なところにもある近代化遺産について。

■ 東川隆太郎 NPO法人かごしま探検の会

② 9:50-10:40 「疎水溝ってなんだろう？」

疎水溝の成立と機能、そして今日のすがたについて学びます。

■ 深港恭子 先生 指宿白水館学芸員

③ 10:50-12:00 「集成館を作ってみよう」

実は地形をたくみに利用して作られている疎水溝。もし現在ならば？自分ならば？とシュミレーションしてみましょう。

■ 大木公彦 先生 (鹿児島大学総合研究博物館長)

プログラム

**無料参加**



■ 講師 **深港 恭子** 氏(指宿白水館学芸員)

■ アドバイザー **大木 公彦** 氏(鹿児島大学総合研究博物館館長)

■ 定員 **40**名 ※定員に達し次第締め切らせていただきます。

■ 申込み方法 7月26日(木)までに、お名前・参加希望人数・ご連絡先をお知らせください。

本事業は、鹿児島県企画課の委託を受け、県内に広く分布する幕末以降の産業遺産の存在や価値を広く県民の皆様にご存知いただくため行なうものです。本講演会以後も、講座・まち歩き・フォーラムを予定しております。お気軽にお問い合わせください。

地理・歴史からまちづくりを考える

NPO法人 まちづくり地域フォーラム・かごしま探検の会

事務局：〒892-0815 鹿児島市易居町1-2-6F ソーホーかごしま18号室

TEL&FAX 099-227-5343

E-mail info@tankennokai.com URL http://www.tankennokai.com